

単元名：おすすめ！日本の名物料理！

【レベル】:3

【単元目標】

留学生に日本の食の魅力を伝えるために、各地の名物料理を、口頭および文章で、紹介できる。

【コミュニケーション能力指標】

食 3-c：日本の代表的な料理や自分の住んでいる地域の料理（料理名、味付け、作り方）について、口頭または文章で紹介できる。

食 2-f：料理の種類（洋食、和食、韓国料理、中華料理など）の好みについて、会話できる。

食 1-f：料理の味や状態についての簡単な感想（おいしい、甘い、辛い、薄い、熱いなど）を述べたり、受け答えをしたりできる。

食 1-k：自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる。

食 1-m：自分が作ることができる料理や、作ってみたい料理の名前を口頭でまたは書いて伝えることができる。

【場面状況】

N 大学で専攻語として n 語を学ぶ学生たちは、留学生や海外在住の日本語学習者に日本の魅力を伝えるために、プレゼンテーションをし、パンフレットを作成することにした。最初に、地域と名物料理の関連性について考察し、n 語の各地域とその名物料理について調査し、クラス内でプレゼンテーションをする。次に、日本に関心のある n 語圏の人々に対して、日本の各地域の名物料理をプレゼンテーションし、パンフレットを作成することにした。

【活動の流れ】

始めに、4人1組のグループに分かれる。

その際に、6~8 グループに分かれ、あらかじめ指定した n 語圏の料理を選ぶ。「n 語圏の各地域とその名物（例：ブルターニュ：ガレット；コートダジュール：ブイヤベースなど）」についてインターネットや教科書で調べる。インターネットサイトなど、できればその言語のサイトにアクセスし、グルー



プで協力して、読み解き、分析する。その内容を要約し、パワーポイントを使用し、それを日本語でプレゼンテーションをおこなう。



次のステップとして、留学生に、日本各地の名物料理を紹介するプレゼンテーションをする。まず、グループ別に発表用のPPTスライドと台本を作成する。同時にPPTの内容をもとに、指定したフォーマットにしたがいパンフレットを作成する。パンフレットは、4 ページのうち、1 ページ目は、日本地図に各地の地名と料理名（写真つき）が入っており、2 ページ目以降は、各県の料理の詳しい説明を目標言語で書く。最後のページには、ホームページの URL を書いておき、パンフレットを見た人からフィードバックが得られるようにする（メール、または web 上で）。

そして、留学生にパンフレットを配布し、グループごとに n 語でプレゼンテーションを行う。各グループのプレゼンテーション終了後に、留学生からコメントをもらう。最後に、全体で内容に関する意見交換をする。

さらに、発展させた活動として、n 語のコミュニティーにもパンフレットを配布する。

【証拠物】

〔日本語による n 語圏名物料理紹介〕

- ・ ppt ファイル（日本語による n 語圏名物料理紹介）
- ・ プレゼンテーションの台本
- ・ プレゼンテーションを撮影した映像
- ・ 学習者同士が評価するルーブリック

〔n 語による日本名物料理紹介〕

- ・ ppt ファイル（n 語による日本名物料理紹介）
- ・ プレゼンテーションの台本
- ・ プレゼンテーションを撮影した映像
- ・ 学習者作成のパンフレット
- ・ 留学生によるコメントの録音

外国語学習のめやすマスター研修 2014夏_G3プラン
 作成者: 角谷昭美(露)/門脇薫(日)/祭貴貴美子(英中)/茂木良治(仏)

単元名: おすすめ!日本の名物料理!!

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・N国の地域と名物を調べるのに、N語で書かれてあるテキストを理解することができる。 ・N国の食文化について、外来語として母語に定着している言葉との関連に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自国の食文化と、N国の食文化について知り理解する。 ・地域と食文化の関連性について、自国とN国との相違点や共通点に気づいたり、推測したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食の独自性を理解する。(シャンパン、八丁味噌、松坂牛などのブランド力など)
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の名物をN語を用いて紹介することができる。 ・分かりやすい発音と表現でプレゼンすることができる。 ・日本語とN語の両言語で、わかりやすくパンフレットを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と食文化の関連性について、日本とN国双方の共通点と相違点を分析することができる。 ・分析をふまえて、考えをまとめて表明することができる。 ・また自文化を再考することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、調べたり、話し合ったり、プレゼンのテーマを決めることができる。各自役割をもってプレゼンし、パンフレットを作成することができる。(協働) ・ネットなどを通じて情報を収集し、PPを利用して発表することができる。(情報活用)
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・N語を使って、N国人に積極的に日本の名物料理を紹介し、日本の魅力を感じてもらい、感想をもらう。(できれば、一緒に食べに行く。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化のタブーがあることを相互に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットに学校のHPのURLをのせ、反響を得る。
三連携	関心・意欲・態度/学習スタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・自文化を意欲的に発信する。 ・目標文化、自文化に関心を持ち、積極的に調査、分析する。 	
	既習内容・経験/他教科の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地理、歴史、社会問題、食文化、食の問題の関する知識と経験に基づいたプレゼンをする。 	
	教室の外の人・モノ・情報	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生や、海外在住日本語学習者とつながる。 	

単元名: おすすめ!日本の名物料理!

タスク	小目標	中目標	大目標
	グループになる	n語の各地域とその名物料理について調査し、クラス内で日本語でプレゼンテーションできる。	留学生に日本の食の魅力を伝えるために、各地の名物料理を、口頭および文章で、紹介できる。 <状況設定> N大学で専攻語としてn語を学ぶ学生たちは、留学生や海外在住の日本語学習者に日本の魅力を伝えるために、プレゼンテーションをし、パンフレットを作成することにした。最初に、地域と名物料理の関連性について考察し、n語の各地域とその名物料理について調査し、クラス内でプレゼンテーションをする。次に、日本に関心のあるn語圏の人々に対して、日本の各地域の名物料理をプレゼンテーションし、パンフレットを作成することにした。
	グループごとに選択肢の中から料理の一つを選ぶ		
	地域の特徴と名物料理についてインターネットまたは書籍(n語の資料も含む)で調べる		
グループで協力して資料を読む	グループで協力して得られた資料を読んで分析し、日本語でまとめる		
例示されたものを参考にして、グループで協力して資料を分析する			
グループで協力して、タスクシートにしたがってまとめる			
表紙を入れて、スライド5枚以内で作成する	PPTを日本語で作る		
地理、歴史、地域の特徴などの背景が入っている			
料理の魅力を伝える			
レイアウト(字の大きさ、配置、量)に注意する			
スライド提示の流れを確認する			
台本とスライドの内容の整合性を考える	台本を日本語で作る		
地理、歴史、地域の特徴などの背景が入っている			
料理の魅力を伝える			
プレゼンテーションのスタイル(初めと終わりの言葉など)にしたがって書く	グループ内でリハーサルをする		
グループ内で話す内容と順番を決める			
評価項目にしたがってお互いにアドバイスし合う			
グループで話し合い、台本とPPTを改善する	クラス内でプレゼンテーションをする		
評価項目(プレゼンテーション)に留意して、日本語でプレゼンテーションをする			
ルーブリックにしたがってお互いに評価し合う			
プレゼンテーションについて簡単にコメントする			
【形成的評価】			
	グループになる	日本の各地域の名物料理を調査し、日本にいる留学生にn語でプレゼンテーションできる。	
	グループごとに選択肢の中から地域の一つを選ぶ		
	地域の特徴と名物料理についてインターネットまたは書籍で調べる		
グループで協力して資料を読む	グループで協力して、得られた資料を読んで分析し、n語でまとめる		
例示されたものを参考にしてグループで協力して資料を分析する			
グループで協力してタスクシートにしたがってn語でまとめる			
表紙を入れてスライド5枚以内で作成する	PPTをn語で作る		
地理、歴史、地域の特徴などの背景が入っている			
料理の魅力を伝える			
レイアウト(字の大きさ、配置、量)に注意する			
スライド提示の流れを確認する			
プレゼンのスタイル(初めと終わりの言葉)にしたがって書く	台本をn語で作る		
台本とスライドの内容の整合性を考える			
地理、歴史、地域の特徴などの背景が入っている			
料理の魅力を伝える	グループ内でリハーサルをする		
先生に添削を受けて台本を修正する			
グループ内で話す内容と順番を決める			
台本を暗記する	留学生の前でn語でプレゼンテーションをする		
教師に発音とスピーチデリバリー(ジェスチャー、間のとり方、声の大きさ、強調)を確認してもらう			
評価項目(プレゼンテーション)にしたがってお互いにアドバイスし合う			
グループで話し合い、台本とPPTを改善する			
評価項目(プレゼンテーション)に留意して、n語でプレゼンテーションをする			
各グループの発表後、留学生の一言コメントをもらう	留学生の前でn語でプレゼンテーションをする		
全てのグループの発表後、全員で日本の名物料理について意見交換する			
録画したプレゼンテーションの映像を見て振り返る			
【形成的評価】			
教師に添削してもらいn語とレイアウトを修正する	フォーマットにしたがったパンフレットのグループ担当箇所を作成する	パンフレットを作成する	
ルーブリックの評価基準(パンフレット)を意識して作る			
プレゼンテーションの際にパンフレットを留学生に配布する	n語圏のコミュニティーにも配布依頼する		
近隣のn語コミュニティーを調べて、連絡する			
可能であればパンフレットについてのコメントをもらう(メールまたはウェブ上)			

評価ルーブリック

テーマ:おすすめ!日本の名物料理!

指示文:留学生に日本各地の名物料理を紹介するプレゼンテーションを行います。スライドは表紙を含め各グループ5枚以内とし、台本はN語で作成してください。同時に配布用パンフレットをn語で作成してください。プレゼンテーションでは名物料理と地域との関連がわかり、その料理が食べたいと思うような説明文にしてください。プレゼンテーションはメンバー全員が発表できるように分担してください。台本は暗記し、正確で聞き取りやすい発音と表現を心がけてください。審査ではプレゼンテーションの発表とパンフレットの完成度で評価します。

評価基準	目標以上に達成 (4点) ★★★★	目標達成 (3点) ★★★	目標まであと少し (2点) ★★	目標達成まで努力が必要 (1点) ★
地域と料理の関連性	台本とスライドの両方とも、地理、歴史、地域の特徴などの背景が明確に説明できており、日本食への魅力を伝えられている。	台本とスライドの両方とも、地理、歴史、地域の特徴などの背景が明確に説明できている。	台本とスライドのどちらかが、地理、歴史、地域の特徴などの背景が明確に説明できていない。	台本とスライドの両方とも、地理、歴史、地域の特徴などの背景が明確に説明できていない。
プレゼンテーション (×2)	グループ全員が原稿を見ずに正しい発音で話すことができ、スピーチ態度(アイコンタクト、声の大きさ、明瞭性)が優れている。	グループ全員が原稿を見ずに、正しい発音で、話すことができる。	グループのうち一人を除いて原稿を見ずに、正しい発音で、話すことができる。	グループのうち二人以上が原稿を見ずに、正しい発音で、話すことができる。
スライドの内容	・レイアウト(字の大きさ、配置、量)が適切である。 ・台本とスライドの内容の整合性がある。 ・全体の流れが明瞭である。 ・アピール性があり、メッセージが伝えられている。	・レイアウト(字の大きさ、配置、量)が適切である。 ・台本とスライドの内容の整合性がある。 ・全体の流れが明瞭である。	・台本とスライドの内容の整合性がある。 ・全体の流れが明瞭である。しかし、レイアウト(字の大きさ、配置、量)が不十分である。	台本とスライドの内容の整合性がない。
パンフレットの内容 (×1/2)	必要な情報(料理名、地域名、写真やイラスト、説明)が入っており、工夫が見られる。	必要な情報(料理名、地域名、写真やイラスト、説明)が入っている。	必要な情報(料理名、地域名、写真やイラスト、説明)が欠けている。	